



ご挨拶

家元 宮本理峰

コロナパンデミックがはじまって早2年が経ち、私たちは変化、変化の日常を強いられてきました。終息を願いつつもウィズコロナの新しい時代を模索せねばとの思いに駆られます。

そんな中ではありましたが、11月13、14日の2日間、文化庁の認可を得て「雅の一会2021」を開催、無事終了することが出来ました。

東京プリンスホテルの大きな会場を飾る60余名の会員による秋を彩る生け花の数々、副家元の4メーターを越すステージでの水墨花点前。更に、トークショー、バイオリン、フルートの演奏と豪華盛りだくさんのプログラムでした。圧巻でした！



家元 宮本理峰

2日間で600名を超えるお客様にもご来場いただき、久々に晴れ着に手を通して晴れ晴れとお迎えする会員の皆様



ゲストによる生け花体験。作品は2日間会場に展示されました。



副家元 宮本理城



様。東洋会の優しいいけばなに包まれながらの歓談に喜びの輪がそこかしこに広がっていました。文化、芸術が希望と平和の輪を広げていく事を実感する二日間でした。

ありがとうございます。また、当日、皆様から私の喜寿のお祝いを頂戴いたしました。思いもかけないお祝いに感謝で心がいっぱいになりました。大変にありがとうございました。東洋会のお花、水墨花とその心を広めていく事が我が使命と更に決意を深くいたしました。

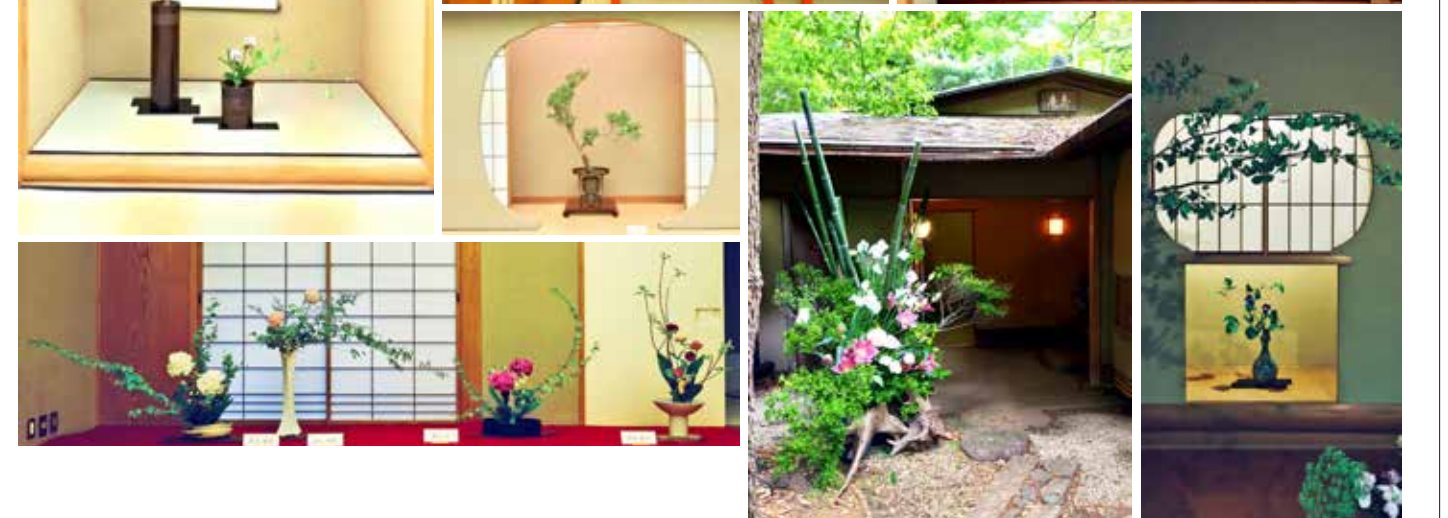
本年も混沌とする時代になるとの予想もありますが、だからこそ、共に手を取り合って文化芸術を通して新しい未来を築いてまいりましょう。皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

お点前出演者の感想などホームページでご覧いただけます。



令和3年5月15日・16日
グランドプリンス
ホテル新高輪
「茶寮 恵庵 けいあん」

新緑薫る五月、都心の喧騒の中、風光明媚な日本庭園に静かにたたずむ茶寮「恵庵」にて副家元社中展が行われました。
和風建築の意匠を凝らした空間の中でおもむきのある数々の生け花作品が飾られました。茶室ではお茶も振舞われ、優雅なひとときとなりました。



令和3年10月1日 「未来へー次世代の挑戦」をテーマにデモンストレーション



いけばなインターナショナルフェア2021

令和3年12月14日

高円宮妃殿下ご臨席の下、ロイヤルパークホテルで開催されました「いけばなインターナショナルフェア2021」の花展「各流派家元による いけばな展」に出展いたしました。(家元 宮本理峰、代生け 副家元 宮本理城)

2年ぶりの開催となりましたが、開催にご尽力くださいました、いけばなインターナショナルの皆様にご感謝申し上げます。

コロナの状況にあるからこそ、いけばなを通して皆が繋がっている、繋げていくという思いを更に深めて参ります。

